

Fidera クラウドサービスレベルのチェックリスト（経済産業省）回答

2026年10月20日現在・無花果株式会社

経済産業省「SaaS向けSLAガイドライン」付属のクラウドサービスレベルのチェックリスト（49項目）に、Fideraの加盟店向けサービスとして回答します。

前提

- ・ **サービス:** Fidera (<https://fidera.jp>)。在籍確認済みの学生に、加盟店の学割を案内し、学割コードを発行するサービスです。本回答の「利用者」は加盟店を指します。
- ・ **運営者:** 無花果株式会社。運営者が変わる場合は、本回答を更新します。
- ・ **情報セキュリティ責任者:** 谷口流生（Fidera 共同創業者）。窓口は security@fidera.jp です。
- ・ **基本方針:** <https://fidera.jp/ja/security> で公開しています。
- ・ **回答の書き方:** ○は対応済み、△は条件付きまたは一部対応、×は未対応です。未対応の項目には、予定があれば時期を書いています。
- ・ **SLA:** 稼働率などの保証値（SLA）は設けていません。以下の数値は運用上の目標や実績であり、保証ではありません。

アプリケーション運用・サポート・データ管理（No.1-38）

データは毎日バックアップし、復元テストも実施済みです。エラー監視と死活監視も稼働しています（No.13-16）。

No.	項目	対応	回答
1	サービス時間	○	24時間365日。定期的な計画停止はありません。リリースはヘルスチェックを通過した新環境へ切り替えるため、原則として停止を伴いません
2	計画停止予定通知	△	定期保守による停止はありません。加盟店に重大な影響がある変更は、30日前までにメールで通知します（パートナー利用規約 第21条）
3	サービス提供終了時の事前通知	○	90日前までに通知します（パートナー利用規約 第21条）

No.	項目	対応	回答
4	突然のサービス提供停止時の対処	△	プログラムやデータの預託は行っていません。データベースは毎日、稼働環境とは別の事業者のストレージに保管しています（No.28）
5	サービス稼働率	×	稼働率の保証値は設けていません
6	ディザスタリカバリ	△	無停止のDRには対応していません。日次バックアップを稼働環境（Railway）とは別の事業者（Cloudflare R2）に保管しており、別環境への復元手順を整備しています
7	重大障害時の代替手段	×	代替手段は提供していません。発行済みのコードは加盟店側のシステムで引き続き利用できます
8	代替措置で提供するデータ形式	×	代替措置がないため、定めていません
9	アップグレード方針	○	すべての変更をプルリクエスト経由で行い、静的解析・型検査・自動テスト・ビルドの成功を必須としています。依存ライブラリはバージョンを固定し、脆弱性は自動検知して随時更新します
10	平均復旧時間（MTTR）	×	設定していません
11	目標復旧時間（RTO）	×	設定していません
11	目標復旧時点（RPO）	○	24時間（毎日03:00 JSTのバックアップ時点）
12	障害発生件数	○	サービス開始以降、復旧に1日以上を要した障害は0件
13	システム監視基準	○	エラー監視（Sentry）でサーバーとブラウザのエラーを検知し、担当者にメールで通知します。外部からの死活監視は60秒間隔で、3回連続で失敗すると障害として通知します
14	障害通知プロセス	○	インシデント対応手順に基づき、加盟店に影響する障害は加盟店アカウントのメールアドレスに通知します

No.	項目	対応	回答
15	障害通知時間	△	加盟店のアカウントやコードに関わるインシデントは、判明から3営業日以内に通知します（パートナー利用規約 第20条第1項）。その他の障害は規定がなく、判明次第通知します
16	障害監視間隔	○	常時監視しています（死活監視は60秒間隔、エラーは発生都度）
17	サービス提供状況の報告方法／間隔	△	定期報告は行っていません。障害時はメールで報告します
18	ログの取得	△	加盟店向け管理画面で、コードごとの状態・日時と集計値を確認できます。サーバーのログは提供していません
19	応答時間	×	公開していません
20	遅延	×	公開していません
21	バッチ処理時間	—	加盟店が利用するバッチ処理はありません
22	カスタマイズ性	×	個別のカスタマイズには対応していません
23	外部接続性	×	加盟店向けAPIは提供していません
24	同時接続利用者数	○	制限はありません
25	提供リソースの上限	○	加盟店ごとの容量やページビューの上限は設けていません
26	サービス提供時間帯（障害対応）	△	メールで24時間受付 (contact@fidera.jp、セキュリティはsecurity@fidera.jp)。対応時間帯の定めはありません
27	サービス提供時間帯（一般問合せ）	○	メールで24時間受付、原則として2営業日以内に返信します
28	バックアップの方法	○	毎日03:00 JSTにデータベース全体をダンプし、稼働環境とは別の事業者のオブジェクトストレージ（Cloudflare R2、保存時暗号化）に保管します。復元テスト実施日は2026年9月30日です。バックアップに加盟店が直接アクセスすることはできません

No.	項目	対応	回答
29	バックアップデータを取得するタイミング（RPO）	○	1日1回、03:00 JST
30	バックアップデータの保存期間	○	30日。期限を過ぎたバックアップは自動で削除されます
31	データ消去の要件	△	解約後は学割ページの公開とコードの発行を停止します（パートナー利用規約 第29条）。発行済みコードは有効期限まで学生の画面に表示します。その他のデータはご依頼に応じて削除し、バックアップからは30日以内に消えます。物理媒体は保有していません
32	バックアップ世代数	○	約30世代（日次・30日分）
33	データ保護のための暗号化要件	○	通信はすべてTLS（HSTS 1年）。ファイルはAES-256-GCMで保存時暗号化、データベースはホスティング事業者のストレージ層で暗号化。学校メールアドレスは平文で保存せず、HMAC-SHA256のみ保持します
34	マルチテナントストレージのキー管理	△	保存時暗号化の鍵は各クラウド事業者が管理します。加盟店ごとの個別鍵はありません。アプリの秘密情報はホスティングの環境変数で管理し、ソースコードには含めません
35	データ漏えい・破壊時の補償／保険	△	保険には加入していません。賠償はパートナー利用規約 第25条によります（故意・重過失などを除き、直前12か月の支払額または10万円の高いほうが上限）
36	解約時のデータポータビリティ	△	加盟店が預けるのは学割の内容とコードで、学生の個人情報加盟店に提供しないため返却の対象になりません。コードの利用状況はご依頼に応じて提供します
37	預託データの整合性検証	△	バックアップは復元テストで件数と検索動作を検証しています（最終実施 2026年9月30日、最低3か月ごと）。検証報告書は発行していません

No.	項目	対応	回答
38	入力データ形式の制限機能	○	入力はサーバー側でスキーマ検証します。アップロードは画像等の指定形式に限り、10MBが上限です

セキュリティ（No.39-49）

管理画面は多要素認証と許可リストで限定し、加盟店のデータは加盟店ごとに分離しています。第三者認証と外部脆弱性診断は未実施です。

No.	項目	対応	回答
39	公的認証取得の要件	×	ISMS・Pマークは未取得です。代わりに基本方針、アクセス管理、暗号化、バックアップ、インシデント対応手順を整備しています。主要な委託先（Railway、Cloudflare）はSOC 2 Type IIを取得しています。SECURITY ACTION二つ星の宣言を予定しています
40	アプリケーションに関する第三者評価	×	外部の脆弱性診断は未実施です。コードレビューと、CIでの自動テスト（全コレクションのアクセス制御を検査するテストを含む）を実施しています
41	情報取扱い環境	○	自社設備は持たず、SOC 2取得済みのクラウド上で運用しています。管理画面と運用ツールは Cloudflare Access の背後に置き、許可リストに載った担当者だけが多要素認証を経て入れます。オリジン側でも署名付きトークンを再検証します
42	通信の暗号化レベル	○	すべての通信をTLS 1.2以上で暗号化し、HSTS（1年）を有効にしています。Cloudflareからオリジンまでの区間もTLSです
43	会計監査報告書における情報セキュリティ関連事項	×	対応していません。委託先のSOC 2報告書は各社のトラストセンターで入手できます

No.	項目	対応	回答
44	マルチテナント下でのセキュリティ対策	○	加盟店アカウントは自社の学割データのみ参照でき、他社のデータやシステムのAPIにはアクセスできません。学生には学割ごとに異なる識別子を用いるため、加盟店間で利用者を照合できません
45	情報取扱者の制限	○	学生の個人情報（氏名・生年月日・学生証画像）は、管理画面の権限を「編集担当・審査担当・システム管理者」の3段階に分け、審査担当以上のみが参照できる領域に分離しています（掲載情報を扱う編集担当は参照不可）。管理アカウントは個人ごとに発行して共用を禁止し、不要となった際は当日中に削除します
46	セキュリティインシデント発生時のトレサビリティ	○	IDは個人単位で付与し、管理画面での操作（ログイン・作成・更新・削除）は、操作者・日時・対象・変更項目とともに監査ログに記録して1年間保存します。監査ログには個人情報の値を記録せず、システム管理者のみが閲覧可能で、編集や削除はできません。あわせて在籍確認の審査記録や学割データの変更履歴も保存しています（サーバーログの保存期間はホスティング事業者の設定に準拠）
47	ウイルススキャン	△	サーバーはマネージドな実行環境です。アップロードは画像（在籍証明書のみPDFも）に限りませんが、ウイルススキャンは実施していません
48	二次記憶媒体の安全性対策	○	物理的な外部媒体は使用しません。バックアップは保存時暗号化されたクラウドストレージに保管し、30日で自動削除します

No.	項目	対応	回答
49	データの外部保存方針	○	データはシンガポールおよび米国のサーバーで保管しており、国内保管ではありません。学生証の文字読み取りは日本国内（AWS 東京リージョン）で処理し、AWS 側にはデータが残りません。各国の個人情報保護制度を把握しており、その旨をプライバシーポリシーで公表しています。講じている措置はご請求に応じて回答します

委託先と連絡先

委託先は一覧で管理し、各社の第三者認証とデータ処理契約（DPA）を確認しています。エラー監視には Sentry（米国、SOC 2 Type II）を使っています。送信前に Cookie・ヘッダー・クエリを除き、IPアドレスと位置情報は保存しません。

委託先	国	用途	第三者認証など
Railway	米国（サーバー：シンガポール・米国）	アプリケーション、データベース	SOC 2 Type II、SOC 3
Cloudflare	米国	CDN・WAF、ファイル保管（R2）、メール送信、ボット対策、管理画面のアクセス制御	ISO 27001、SOC 2 Type II
アマゾンウェブサービスジャパン合同会社 (Amazon Bedrock)	日本（処理は東京リージョンのみ）	学生証の文字読み取り（データを保持しない、AIの学習に利用しない）	ISMAP、SOC 2 Type II
OpenRouter	米国	学割の不具合報告の内容確認（データを保持しない設定、AIの学習に利用しない）	DPA
Sightengine	フランス	生成AI画像の判定	EU（十分性認定）
Google	米国	学生のログイン（OAuth）	—

委託先	国	用途	第三者認証など
LINE ヤフー	日本	学生のログイン（LINE）	—

連絡先: セキュリティに関するご質問は security@fidera.jp、その他は contact@fidera.jp まで。インシデント対応手順書はご請求に応じて開示します。

出典: 項目は経済産業省「SaaS向けSLAガイドライン」のチェックリストによります（記入例：[i-Reporter](#)、[Mackerel](#)）。